「東中延一丁目町会」から皆様へ



災害に対する自宅での備えは万全ですか?

東京にはさまざまな災害リスクが潜んでいます。いつもの暮らしに少しだけ手を加える、小さな備えの 積み重ねが、多くの命を守ります。今からできる準備を進めましょう。

「日常備蓄」で災害に備えましょう

「日常備蓄」は、災害に備えて特別な準備をするのではなく、普段使っている ものを常に少し多めに用意しておくことです。

備蓄品の種類や量は、家庭構成や家族状況によって異なります。まずは3日分、できれば1週間分を目標に備蓄を進め、災害に備えましょう。



東京防災公式キャラクター 「防サイくん」

東京都で勧めている日常備蓄のイメージ





STEP 3 減った分を補充

災害時に必要なもの

(被災地で重宝した品目)

- ●カセットコンロ
- ●懐中電灯
- ●簡易トイレ
- ●充電式ラジオ

など

女性の場合は、生理 用品、乳幼児・高齢 者がいる家庭では オムツなどを常備

常に少し多めの状態をキープ

出典:「日常備蓄」で災害に備えよう(東京都総務局)

無事を知らせる黄色いタオル

日頃から、町会活動にご理解・ご協力いただき、誠にありがとうございます。 さて、東京都が推進しております「町会・自治会による防災対策普及啓発事業」の一環事業として、都・町会のメッセージと啓発グッズを、町会員のご家庭に配布させていただきます。今回配布させていただきますのは、災害発生時のコミュニケーションツールとして活用できる安否確認タオルです。

お納めくださいますようお願い申し上げます。

東京都からのお知らせ



災害はいつ起こるかわかりません。

日ごろの備えか大切で

家族や地域の方々と、できることから、始めましょう。

「備は、常に」

新城 分人也不成子



首都直下地震が発生すると、 建物倒壊や火災など様々な被害により、 生活に大きな影響がでます。



★詳細はコチラ

- ・揺れによる家具の転倒により下敷きとなる可能性
- ・電力、上下水道、ガスなどライフラインが途絶し、生活に大きな支障
- ・マンションでは水道が供給されても、当面トイレが利用できない可能性
- ・携帯電話はつながりにくく、スマホのバッテリーが切れると家族との連絡が困難に
 - ・家具転倒防止対策や災害時の家族との 連絡方法[※]の確認を行いましょう。



※ 災害用伝言ダイヤル(171)等で、家族の安否確認メッセージを登録・確認できます。

3日後~

- ・電力が復旧した際、倒れた電気ストーブや照明器具に接触する可燃物から<mark>通電火災が</mark> 発生する可能性
- ・被害状況によっては、ライフラインの復旧や計画停電が長期化する可能性
 - ・避難時は、必ずブレーカーを落としましょう。



- ・避難生活の継続によりストレスなどが増加
- ・スーパー・コンビニでは、生活必需品の品薄状態が継続
- ・点検終了までエレベーターが使用できず、外出等が困難
- ・避難生活に備え、水や食料、携帯トイレ、 常備薬等を備蓄しましょう。

